

## 第8回 八戸市生活支援体制整備推進協議会

日時：令和元年7月8日（月）

14時00分～

会場：八戸商工会館 6階 会議室B

### 次第

#### 1 開会

#### 2 報告案件

案件1 住み慣れた地域での生活を考えるワークショップについて ※資料1

---

案件2 八戸市地域包括ケアシステム推進学生サポーター養成研修について ※資料2

---

案件3 社会福祉法人等によるごみ捨て支援を普及させるための取組について ※資料3

---

案件4 高齢者の社会的居場所・介護予防の取組について ※資料4

---

案件5 日常生活支援事業（訪問型サービスA）の創設について ※資料5

---

#### 3 審議案件

案件1 第2層生活支援コーディネーターの変更について ※資料6

---

#### 4 その他

- ・ 6月3日「青森県型地域共生社会」実現に向けた福祉機能強化支援セミナーでの事例発表について
- ・ いきがい・助け合いサミット in 大阪 ポスターセッションへの投稿について

#### 5 閉会

## 住み慣れた地域での生活を考えるワークショップについて

今年度も標記ワークショップを下記のとおり開催する。

### 1 地区ワークショップ

	日付	対象地区（案）
第1回	調整中	瑞光園エリア（白銀南、鮫、南浜） えがおエリア（白銀、湊） 寿楽荘エリア（市川、根岸） ゆとりエリア（南郷）
第2回	〃	福寿草エリア（大館、東） 修光園エリア（是川、中居林） はくじゅ（上長、下長） やくらエリア（田面木、館、豊崎）
第3回	〃	ちょうじゃの森エリア（長者、白山台） アクティブ24エリア（小中野、江陽） みやぎエリア（三八城、根城） 医師会エリア（柏崎、吹上）

### 2 地域密着ワークショップ（試行的取組）

	日付	対象地区	実施協力
第1回	調整中	内舟渡町内（主に内舟渡集会所の近く）	株式会社池田介護研究所 八戸学院大学小柳達也ゼミ
第2回	〃	〃	〃

### 3 内容

- ・ 地区ワークショップについては従来と同じく、住民と学生が自由に意見しながら地域課題の解決を進めていく。
- ・ 地域密着ワークショップについては、原則としてメンバーを固定して議論を積み上げていくように運営する。

## 令和元年度 八戸市地域包括ケアシステム推進学生サポーター養成研修について

## 1 開催日時

令和元年 6月 27日（木）、6月 28日（金）、7月 1日（月） 16時 10分～

## 2 開催場所

八戸学院大学 8号館 814 教室

## 3 目的

生活支援体制整備事業に係るワークショップに参加する意向がある学生に対して、ワークショップの基礎理解を促すための研修を実施することで、より能動的に参加できるようにする。

## 4 主催

八戸市（高齢福祉課）

## 5 参加条件（全てを満たす者）

- ①八戸学院大学及び八戸学院大学短期大学部の正科生であること
- ②生活支援体制整備事業に係るワークショップへの参加意向を有すること
- ③所属先（担任等）からのフォローアップを受けられる者

## 6 受講者

7名（2年生、3年生）

## 7 プログラム

日時	科目	対応者
6/27 16:10	八戸市の現状と高齢者福祉施策について (60分)	高齢福祉課職員
6/28 16:10	地域包括ケアシステムの基礎理解について (60分)	小柳 達也氏 (八学准教授)
7/1 16:10	グループワークの基礎理解と基本的技能について (120分程度)	三岳 貴彦氏 (八学短大講師)

## 社会福祉法人等によるごみ捨て支援を普及させるための取組について

社会福祉法人ぶさん会、社会福祉法人東幸会のごみ捨て支援の取組を好事例として普及させるため、市内の社会福祉法人等に対し情報提供をしながら協力要請を行う。

### 1 日時

7月26日（金）10時～

### 2 場所

市庁別館会議室B・C

### 3 参加者

八戸市内で事業を実施している社会福祉法人、老人クラブ、町内会

### 4 提供する情報

- ・ ごみ捨て支援実施の経緯
- ・ 実績 等

### 5 今後

在宅生活を望む高齢者の支援について協力を申し出た社会福祉法人等と、取組の具体化に向けて話し合いを進めていく。 ※ 適宜協議会に報告

## 高齢者の社会的居場所・介護予防の取組について

### 1 経緯

- ・ 昨年行われた高齢社会フォーラム in 八戸（H30.10.12）での議論を踏まえ、高齢者の社会的居場所づくりと介護予防を掛け合わせた取組を模索しているところである。
- ・ 第7回協議会（H31.2.19）において、そよ風（社会福祉法人白銀会の実践事例）の調査報告と八戸市近隣の事例を紹介したうえで今後の対応を検討した。
- ・ 同協議会において委員から「公民館やコミュニティセンター等の公空間を活用したい（“住民にとって身近なところ”というニュアンス）」「居場所づくり、介護予防、広い意味での労働などの複合的な意味を持つ活動としてはどうか」「参加者がサービスの受け手となるだけでなく運営面でも主体性を発揮できる場であればよい」「社会福祉法人の活躍にも期待したい」といった意見が出された。

### 2 八戸市内で行われている取組み

さらに議論をすすめるため市内で展開されている取組を再整理した。

名称（実施団体）	内容
地域交流スペースそよ風 （社会福祉法人白銀会）	H29.4に社会福祉法人の地域公益的取組としてスタート。孤食対策、介護予防、認知症予防、住民交流などの機会を提供している。会場は法人が借り上げた建物。
野場ふれあいサロン （野場町内会、協力：高齢者支援センター福寿草）	H30.3に設置された野場コミュニティセンター。施設で行われる一部の活動について高齢者支援センター福寿草が協力している。歌、講演会、料理教室、昔話、栄養の勉強など、その都度企画を考えている。 ※毎回、高齢者支援センターが健康講話や血圧測定を実施。
まんまるファクトリー （内舟渡集会所、株式会社池田介護研究所）	H31.4に開始。通所型サービスCと自主事業（例えば介護予防のための運動など）を組み合わせ実施。子ども食堂や学習支援、学生とのコラボレーションも構想中。
ふれあいお茶会 （上田面木町内会、協力：社会福祉法人ファミリー）	H31.4.20に開始。高齢者支援センターハピネスやくら（社会福祉法人ファミリー）が上田面木町内会から「活動スペースが欲しい」との声を受け、会場の提供と活動への協力を行っている。今年度は年7回程度実施予定。

※上記一覧は生活支援体制整備事業で関与があったもの。

### 3 今後の対応

- ・ 八戸市内の社会福祉法人に対し「通いの場」を照会済み。
- ・ 年度内に独自事業の素案を作成し当協議会で検討する。

## 日常生活支援事業（訪問型サービス A）の創設について

## 1 創設理由

少子高齢化によって生じている「介護サービスの需要増と担い手不足」という課題に対応すると同時に、「高齢者の社会参加機会を拡大」するために新事業を創設する。

## 2 本事業の位置づけ

別紙参照

## 3 事業開始日

令和元年 7 月 1 日

## 4 事業実施方法

委託（公益社団法人八戸市シルバー人材センター）

## 5 事業内容

訪問支援員が総合事業対象者又は要支援 1～2 の方の自宅を訪問し下記の支援を行う。

支援内容	①掃除 ②洗濯 ③買い物 ④一般的な調理 ⑤配下膳 ⑥ゴミ出し ⑦ベッドメイク ⑧衣類の整理・被服の補修 ※身体介護、薬の受取は行わない。
利用料	1 回 30 分以内 160 円    1 回 45 分以内 180 円
サービス上限	週 2 回まで

## 6 人員配置

職名	人数	資格	役割
管理者	1 名	なし	事業の統括
訪問事業責任者	1 名以上	介護福祉士、介護職員実務者研修修了者、介護職員初任者研修修了者など	利用相談、契約の締結、サービスの管理など
訪問支援員	必要数	介護福祉士、介護職員実務者研修修了者、介護職員初任者研修修了者、訪問ヘルパー 3 級、 <u>市が指定した研修を修了した者</u>	利用者に対して直接支援を行う

## 7 市が指定した研修

他都市の例を参考に「日常生活支援事業（訪問型サービスA）訪問支援員養成研修」を令和元年5月20日～同年5月23日に実施した。※研修内容については別紙参照

### 《研修内容》

科目	時間	講師
介護保険制度と地域包括ケアシステム	60分	小柳達也氏（八戸学院大学）
訪問型サービスAの職務	60分	高齢福祉課職員
支援における尊厳の保持・自立支援	60分	三岳貴彦氏（八戸学院大学短期大学部）
生活支援の基本	120分	池田右文氏（池田介護研究所）
老化の理解	60分	小柳達也氏（八戸学院大学）
利用者とのコミュニケーション	120分	三岳貴彦氏（八戸学院大学短期大学部）
認知症の理解	60分	清水博己氏（ささクリニック）
最終チェック	60分	高齢福祉課職員
合計	10時間	

### 《受講者》

今回は現八戸市シルバー人材センター会員を対象に実施した。受講者は58歳から72歳までの女性15名。家事援助や介護職の経験を有する方が含まれている。

### 《今後の対応》

必要に応じて養成研修を実施し訪問支援員を確保する（今年度は第2回目を実施することも可能）。受講対象者も徐々に拡大する方針。

**令和元年度 八戸市訪問型サービス A 訪問支援員養成研修シラバス**  
(八戸市訪問型日常生活支援事業訪問支援員養成研修)

**I 養成研修の概要**

**1 目的**

介護に関する業務経験が無い者に対して、高齢介護福祉施策や訪問介護に関する知識を習得させることによって、訪問型サービス A 訪問支援員として適切に業務を遂行できるようにする。

**2 研修スケジュール**

日付	時間	講義名	講師・進行 (予定)	会場
5/20	13時00分～ 13時30分	開講式・オリエンテーション	高齢福祉課	福祉公民館 大会議室
〃	13時30分～ 14時30分	介護保険制度と地域包括ケアシステム	小柳	〃
〃	14時40分～ 15時40分	訪問型サービス A の職務	高齢福祉課	〃
〃	15時50分～ 16時50分	支援における尊厳の保持・自立支援	三岳	〃
5/21	13時00分～ 15時00分	生活支援の基本	池田	〃
〃	15時10分～ 16時10分	老化の理解	小柳	〃
5/22	13時30分～ 15時30分	利用者とのコミュニケーション	三岳	〃
〃	15時40分～ 16時40分	認知症の理解	清水	〃
5/23	13時30分～ 14時30分	最終チェック	高齢福祉課	福祉公民館 手話教室
〃	14時30分～ 14時45分	閉講式	高齢福祉課	〃

※ 都合により講義内容が変更になる場合があります。



## II 講義の詳細

### オリエンテーション

目 的	研修の目的やスケジュールを伝えることで学習意欲を高めつつ、今後の講義の導入となる知識を伝える。
到達目標	①研修の目的を理解する ②研修のスケジュールを理解する ③受講上のルールを理解する ④八戸市の現状と将来予測を大まかに理解する
講義内容	①養成研修の概要 ②受講上のルール ③八戸市の現状と将来予測（人口推計等）
学習方法	講義形式（20分）
受講上の注意	養成研修の基本的な事項（ルール等）を説明するため、必ず出席してください。
講 師	氏 名：島田 拓巳 所 属：高齢福祉課

### 第1講 介護保険制度と地域包括ケアシステム

目 的	介護保険制度と地域包括ケアシステムの概要を理解したうえで業務に取り組めるようにする（自立して行動できる人材を養成するため）。
到達目標	①介護保険制度の目的、利用方法を理解する ②地域包括ケアシステムの必要性和目標を理解する
講義内容	①介護保険制度成立の背景 ②介護保険サービスを利用する方法 ③介護保険で利用できるサービスの種類 ④地域包括ケアシステムとは ⑤地域包括ケアシステムにおける訪問型サービスAの位置づけ
学習方法	講義形式（60分）
受講上の注意	
講 師	氏 名：小柳 達也 所 属：八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 准教授 学位等：博士（社会福祉学）／社会福祉士

## 第2講 訪問型サービスAの職務

目 的	訪問型サービスAの業務範囲を理解し、適切に業務を遂行できるようにする。
到達目標	①訪問型サービスAの業務範囲内か否かを区別できる ②基本的な業務の流れを理解し確実に遂行できる
講義内容	①訪問型サービスAの業務と既存の訪問介護との違い ②模擬事例を用いて業務の進め方を確認
学習方法	講義形式 (60分)
受講上の注意	
講 師	氏 名：島田 拓巳 所 属：高齢福祉課

## 第3講 支援における尊厳の保持・自立支援

目 的	訪問型サービスAを実施するにあたって職業倫理を把握し、利用者の自立を志向した支援を行えるようにする。
到達目標	①基本的な職業倫理を理解する ②自立支援の考え方を理解する
講義内容	①尊厳・人権 ②自立 ③個人情報保護
学習方法	講義形式 (60分)
受講上の注意	
講 師	氏 名：三岳 貴彦 所 属：八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科 学位等：スポーツ科学修士／社会福祉士

## 第4講 生活支援の基本

目 的	思い込みで業務を進めることが無いよう、基本的な事項を再確認する。
到達目標	利用者の個別性を意識した生活支援を行うことができる
講義内容	①生活支援の意義 ②生活支援の視点 ③生活援助の考え方 ④掃除支援の基礎知識 ⑤洗濯支援の基礎知識 ⑥買い物支援の基礎知識 ⑦調理支援の基礎知識
学習方法	講義形式 (120分)
受講上の注意	
講 師	氏 名：池田 右文 所 属：株式会社池田介護研究所（八戸市内で通所介護やトラベルヘルパー等を展開） 資 格：介護支援専門員／介護福祉士

## 第5講 老化の理解

目 的	老年期の身体的、心理的、社会的な変化を理解したうえで支援を行えるようにする。
到達目標	①加齢による身体的、心理的、社会的な変化を理解している ②利用者のストレングス（強み）に着目することができる
講義内容	①加齢による身体的、心理的、社会的変化 ②プロダクティブエイジング（高齢者のストレングスについても言及）
学習方法	講義形式（60分）
受講上の注意	
講 師	氏 名：小柳 達也 所 属：八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 准教授 学位等：博士（社会福祉学）／社会福祉士

## 第6講 利用者とのコミュニケーション

目 的	利用者と良い関係を構築するためのコミュニケーション法を習得する。
到達目標	①利用者信頼関係を構築できる ②個人的な関係に陥らない ③被害妄想の攻撃対象になる可能性を低減する
講義内容	①口調 ②表情 ③態度 ④身だしなみ ⑤相手との物理的な距離感 ⑥傾聴 ⑦軽度の認知症や精神疾患への対応
学習方法	講義形式＋演習形式（120分）
受講上の注意	
講 師	氏 名：三岳 貴彦 所 属：八戸学院大学短期大学部 講師 学位等：スポーツ科学修士／社会福祉士

## 第7講 認知症の理解

目 的	認知症及び軽度認知障害の症状等を理解し、利用者の変化に気づけるようにする。
到達目標	①認知症及び軽度認知障害の症状を理解している ②認知症等のサインに気づくことができる
講義内容	①認知症及び認知障害（初期症状・サインについても言及） ②病気の経過と治療 ③認知症と混同しやすい疾患
学習方法	講義形式（60分）
受講上の注意	
講 師	氏 名：清水 博己 所 属：ささクリニック 資格等：精神保健福祉士／社会福祉士 青森県相談支援専門員等協会副会長／青森県精神保健福祉士協会副会長兼 事務局長

## 第8講 最終チェック

目 的	養成研修の内容をおさらいする。
到達目標	訪問支援員の基本ルールを理解している
講義内容	①訪問支援員の業務内容 ②ミニテスト
学習方法	ミニテスト等（60分）
受講上の注意	訪問支援員業務の理解度を問うミニテストを行いますので予習をお願いします。テストの回収はしません。出題例は以下のとおり。  例題：利用者から「余った時間で引きこもりがちな息子の部屋も掃除してもらいたい」と言われましたが、どう対応しますか。正しい選択肢に○、条件付きで正しい選択肢に△、誤っている選択肢に×をつけてください。  A 時間の余裕があるし、ちょっとした作業なので、予定の時間まで息子の部屋の掃除も引き受ける。【×】 B 「訪問支援員の業務外なのでできません」ときっぱり断る。一連のやり取りについてはサービス提供責任者に報告する。【△】 C 事情を聴いたうえで、「対応できない」ことを説明する。一連のやり取りについてはサービス提供責任者に報告する。【○】
講 師	氏 名：島田 拓巳 所 属：高齢福祉課

### Ⅲ 受講上の注意事項

#### 《出席確認に関すること》

- ・ 毎回の講義で受講名簿を回覧するので署名してください（署名がなければ欠席扱いとなります）。
  - ・ 欠席する場合は必ず事務局に御連絡ください。
  - ・ 欠席回数が3回を超えると受講資格を失います。
  - ・ 無断欠席は2回欠席したものととして取り扱います。
  - ・ 遅刻や早退は15分まで認めますが、3回につき1回欠席したものととして取り扱います。
- ※15分以上の遅刻や早退は欠席扱いとなります。

事故や不幸事などの急な事情がある場合には配慮しますので、事前に御相談ください。

#### 《受講態度に関すること》

- ・ 講義中は講師の指示に従ってください。
- ・ 私語厳禁です。

#### 《飲食に関すること》

- ・ 講義中の水分摂取を認めますが、原則として食事は認めません。
- ※ただし、持病のため栄養の摂取や服薬が必要な場合は事前に御相談ください。

#### 《準備するもの》

- ・ 筆記用具を用意してください。

### Ⅳ 事務局の連絡先

八戸市高齢福祉課 電話：0178-43-9189

担当 島田、石木田、中坂

## 第2層生活支援コーディネーターの変更について

### 1 経緯

春の人事異動により第2層生活支援コーディネーターに3名の欠員が生じるようになったため、当該職員が所属する法人に対し欠員分の推薦依頼を行ったところ、下記のとおり回答があった。

### 2 前任者及び後任者

#### 《異動者（前任者）》

法人名	包括名	担当地区	名前	職種
一般社団法人 八戸市医師会	医師会	柏崎、吹上	尾崎 景子	看護師
社会福祉法人みやぎ	みやぎ	三八城 根城	坂本 美華	社会福祉士
			櫻橋 和加子	主任介護支援専門員



#### 《新たに推薦された者（後任者）》

法人名	包括名	担当地区	名前	職種
一般社団法人 八戸市医師会	医師会	柏崎、吹上	立崎 公章	社会福祉士
社会福祉法人みやぎ	みやぎ	三八城 根城	久野 正志	社会福祉士に 準ずる者
			大山 舞	介護支援専門員

### 3 引継ぎ等

前回と同様に前任者からの引継ぎを行う。ただし、後任者が希望する場合は個別に研修を行うこととしたい。

#### 《研修のイメージ》

下記内容を講義形式で伝える。

- ・生活支援体制整備事業の内容
- ・生活支援体制整備事業の必要性
- ・八戸市の取組
- ・生活支援コーディネーターの活動

【参考】第2層生活支援コーディネーター一覧（令和元年7月8日以降）

法人名	包括名	担当地区	名前	職種
社会福祉法人 スプリング	福寿草	大館、東	川井 純子	主任介護支援専門員
			佐々木 廣平	看護師
社会福祉法人 同伸会	瑞光園	白銀南、鮫、 南浜	内澤 菜美輝	社会福祉士
			笹川 佳子	主任介護支援専門員
社会福祉法人 寿栄会	寿楽荘	市川、根岸	尾坪 美恵子	主任介護支援専門員
			井ノ上 洋一	社会福祉士
株式会社 ゆとり	ゆとり	南郷	下平 敦子	主任介護支援専門員
			磯島 祐美子	看護師
医療法人 康和会	ちょうじやの森	長者、 白山台	椛本 隆	主任介護支援専門員
			小林 紗知子	社会福祉士
一般社団法人 八戸市医師会	八戸市医師会	柏崎、吹上	中里 和江	看護師
			立崎 公章	社会福祉士
社会福祉法人 みやぎ会	みやぎ	三八城、 根城	久野 正志	社会福祉士に準ずる 者
			大山 舞	介護支援専門員
社会福祉法人 ファミリー	ハピネスやくら	田面木、館、 豊崎	小泉 明美	主任介護支援専門員
			佐藤 ひとみ	社会福祉士
社会福祉法人 八陽会	修光園	是川、 中居林	高奥 佳代子	社会福祉士
			林崎 絵里香	看護師
医療法人 仁泉会	えがお	白銀、湊	渡部 哲也	社会福祉士
			高田 恒	主任介護支援専門員
公益財団法人 シルバーリハビリテーション協会	はくじゅ	下長、上長	久保沢 光浩	社会福祉士
			佐々木 ひとみ	主任介護支援専門員
医療法人 杏林会	アクティブ24	小中野、 江陽	堀内 博子	主任介護支援専門員
			吉田 由美子	看護師